

(お知らせ)

福島第二原子力発電所 3号機における  
原子炉再循環系配管の点検結果について

平成 17 年 5 月 17 日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

当所 3 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）につきましては、平成 16 年 12 月 2 日より第 13 回定期検査を実施しておりますが、応力腐食割れ対策<sup>\*1</sup>を実施予定の原子炉再循環系<sup>\*2</sup>配管の 60 個の継手について、平成 17 年 3 月 9 日より超音波探傷検査<sup>\*3</sup>を実施したところ、本日点検が終了し、1 個の継手の 1 箇所長さに約 17mm、深さに約 5.8 mm のひびが確認されましたのでお知らせいたします。

今後、ひびが確認された継手について、詳細に評価いたします。

以 上

\* 1 : 応力腐食割れ対策

原子炉再循環系配管の応力腐食割れ対策として、配管の溶接部近傍に残っている応力（引張り力）を改善すること。

\* 2 : 原子炉再循環系

原子炉内の冷却水を原子炉圧力容器から取り出し、ポンプで昇圧し原子炉に戻す系統。

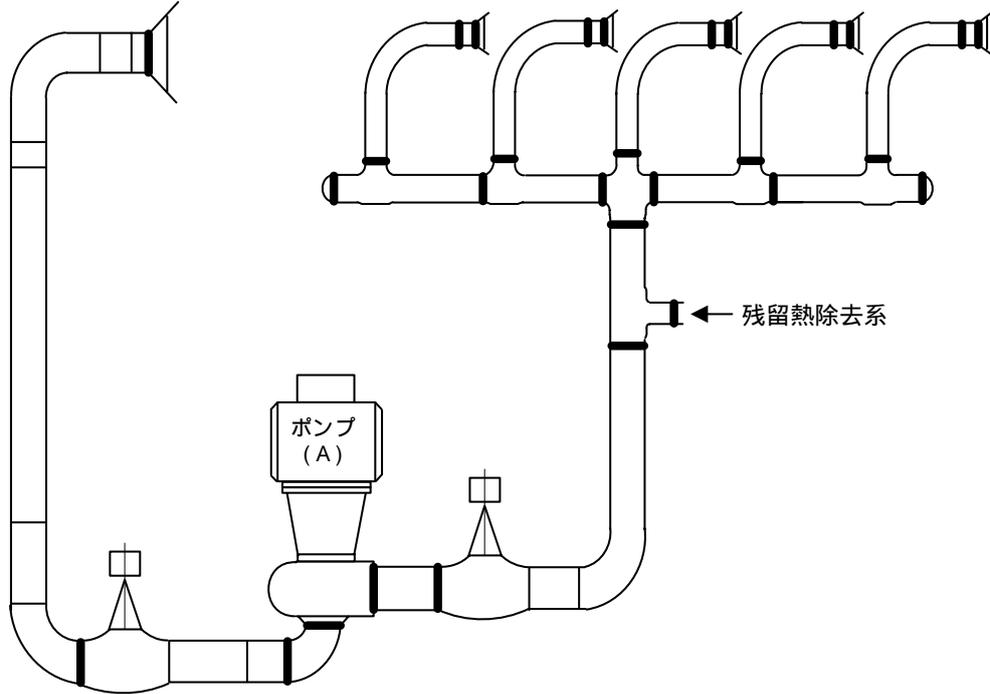
\* 3 : 超音波探傷検査

材料の欠陥を検出するための検査であり、欠陥の有無により超音波の反射の仕方が違うことを利用した検査。

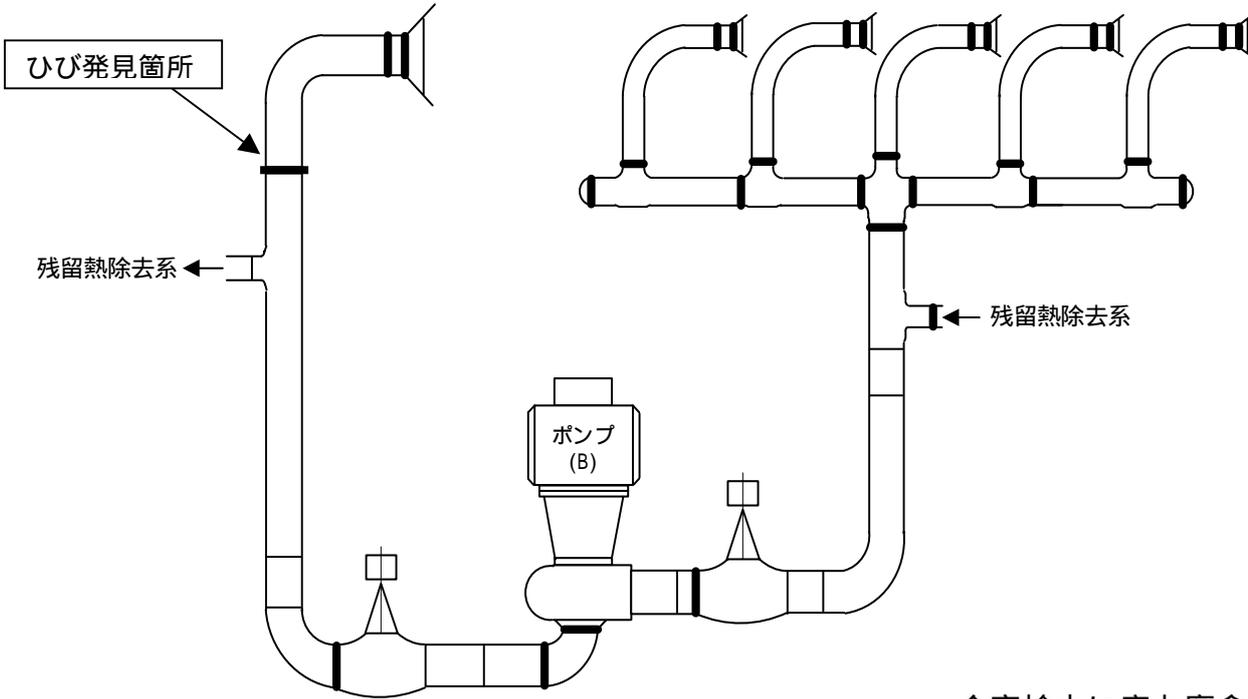
(お問い合わせ先)

福島第二原子力発電所  
広 報 部  
TEL0240-25-1353

原子炉再循環系配管概略図



(A)系



(B)系

— 今定検中に応力腐食割れ対策を実施する箇所

指示長さ (大きさ)	深さ	配管肉厚	配管外径
約 17 mm	約 5.8mm	38.9 mm (工認記載値)	625.4 mm (工認記載値)